

一般行政 総務部 市町村課

栗田 裕香里

Kurita Yukari

異動経歴

H23年採用 教育庁 教育振興部 体育課

H26年 東葛飾土木事務所

H28年 総務部 市町村課

平成23年度
採用



育児休業取得期間

第1子/R元年11月10日～R2年9月13日・第2子/R3年12月15日～R5年3月31日

Q1 仕事の内容とやりがいを感じる瞬間について教えてください。

市町村課では、県内市町村の行財政運営に対して助言を行うという業務を行っています。私は、行政班において、市町村における住民票やマイナンバーカードを扱う窓口業務に対して助言を行う業務を担当しています。

市町村の困り事に対して解決策を検討し、市町村の問題解決につながった時に、やりがいを感じます。

Q2 育児休業を取得する際、周囲の反応はどうでしたか。

妊娠してから育児休業に入るまでの期間は、体調に配慮してもらい、業務に対して過度な負担がかからないようにと周囲がサポートしてくれました。

育児休業を取得することに対しても、上司をはじめ同僚からも快く受け入れてもらえたと思っています。

Q3 育児休業中の職場のサポート体制はどうでしたか。 (職場からの連絡や情報提供など)

提出が必要な書類について、郵送やメールで送付してもらいました。

育児休業中に、1～2回職場にて面談の場を設けてもらい、現状報告や今後についての相談をさせてもらいました。

Q4 職場復帰への不安や心配はありましたか。

特に第1子出産後の職場復帰の際は、本当に仕事と育児を両立してやっていけるのかという不安はありました。

Q5 復帰時の職場のサポート体制はどうでしたか。

終業後にこどもの保育園のお迎えがあるため、会議への出席依頼や出張の指示があった時には、勤務時間内に終わられるような時間設定にしてもらうよう配慮してもらっています。

Q6 復帰後に苦労した出来事や、仕事と育児の両立について工夫されていることなどについて教えてください。また、活用した（している）制度があれば具体的な名称も記載してください。

活用した（している）制度

育児部分休業、育児休暇・子育て休暇（特別休暇）、テレワーク

こどもが小さいうちは、頻繁に熱を出すため、予定外に仕事をお休みしなければならないことがあり、その対応には苦慮しています。

テレワークを活用することで、通勤時間がかからなくなるため、その分の時間を家事や育児の時間に充てるようにしています。

Q7 育児休業取得前と後で、仕事をする上で変化したことはありましたか。

今は、限られた時間の中で仕事をしなければならないため、常に優先順位を意識して仕事に取り組むようになりました。

Q8 休日や退庁後の余暇の過ごし方について教えてください。

休日は、こどもといろいろな場所へ出掛けて、たくさん遊ぶことで、こどもとの時間を楽しんでいます。毎週、次の休日の計画を立てることが楽しみとなっています。

Q9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

子育てを経験したことで、社会に対する見方が変わったと感じており、そういった新たな視点や気づきを日々の業務に生かしていきたいと思っています。

MY SCHEDULE

